

みんなの
声が
原点です

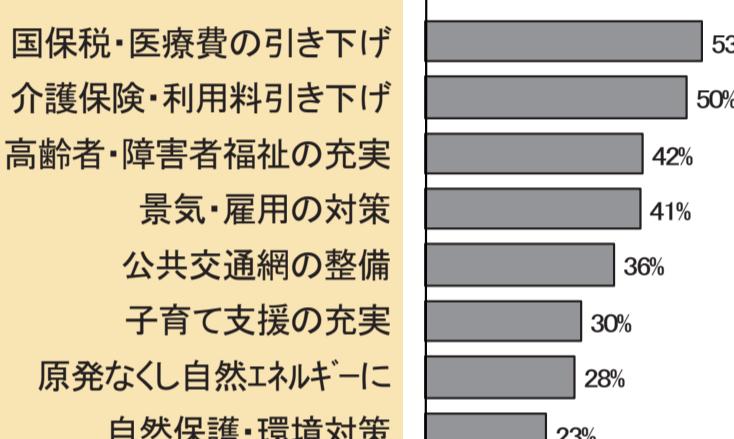
声 若い人たちが、安心して働ける職場の確保をしてほしい。雇用がなくて税が減っている。

声 介護保険料は下げてください。年金はもっと上げてください。月3万円では食べていけない。

声 子どもの医療費は1000円以上は無料だけど、お金がないと病院にもいけない。いじめ対策も真剣に考えてほしい。

アンケートへのご協力ありがとうございました

●市政に望むことは



●子育て・教育で望むことは

- 1位:子供を産み育てやすい環境整備…39%
- 2位:いじめや不登校の対策……………30%
- 3位:保育料の引き下げ……………26%
- 4位:学童保育の充実……………24%
- 5位:医療費を高卒まで無料に…………24%

●高齢者が安心して暮らすため望むこと

- 1位:介護保険・利用料の負担軽減…53%
- 2位:一人暮らしの方への生活支援…49%
- 3位:医療費の負担を減らす…………42%
- 4位:交通機関の充実……………33%

(新後議員がとりくんだ「市民アンケート」より)

声をとどけ実現



暮らしと福祉、雇用の充実を 願い実現に全力

日本共産党

新後 ゆき子

実現めざし頑張ります

まちづくり

- ◇老朽化した橋や公共施設の補修・耐震化を
- ◇地域に根ざした観光施策を
- ◇“市民の足”、在来線・バスの充実を

地元の仕事を

- ◇住宅リフォーム助成制度を
- ◇老朽化した橋や公共施設の補修・耐震化を
- ◇農業や医療をこなすTPP交渉から撤退を

教育

- ◇小・中学の全学級を少人数学級に
- ◇普通学級に冷・暖房施設の設置を
- ◇保育料を一人一円引き下げを

子育て支援

- ◇窓口無料に
- ◇介護保険料・利用料の減額・免除の制度を
- ◇子どもの医療費を18才まで

医療・福祉

- ◇国保税の一戸2万円の引き下げをただちに
- ・国保会計の基金の活用ですぐにできます。
- ・資産割、子どもの均等割をなくします。

“市民の暮らし第一”
で財源はできます

「市民の暮らし第一」で不要・不急の事業を見直し、進出企業にもきちんと税金を負担してもらうなどすれば、財源は確保できます。
「暮らし・雇用をまもり元気な市へ」—知恵をつくすのが政治の仕事です。

新病院の建設、医療体制に市民の声を



新病院は、新後議員の提案で、個室の差額ベッド料はとらないことになりました。

病院は、市民の命と健康をまもる大切な拠点です。さらに市民の声を反映させましょう。

- 山中、大聖寺に、新病院と連携した診療所を。
- 市内全域から利用できる、安い病院行きバスの確保を。

病院に行くバスなど便利にしてほしい。安価でいつでも入院できるといいです。

高齢者医療はどうなるか未来像を示してほしい。山中・大聖寺の跡地の活用も。

新病院もいいが、なくなる病院のことも考えてほしい。合併のときのようにギクシャクしないように。

(市民アンケートに寄せられた声より)



私の両親は、満州から引き上げの途中で、一歳半だった長男を栄養失調でなくしました。“戦争のない平和な社会を”が私の原点です。日々の暮らしは平和があつてこそだと思います。市民のみなさんから寄せられた声をしっかりと受けとめ、市民が主人公の加賀市政の実現のために、全力で頑張ります。

【プロフィール】

- 1948年片野町生まれ。松ヶ丘在住。●大聖寺高校、県立保育専門学校卒業。●保母として錦城、大同、金明の各保育所に勤務。●1978年加賀市議に当選。●趣味:映画鑑賞

ホームページ、ブログ、フェイスブックは 新後ゆき子 検索

日本共産党

「くらし切りすて」に何でも賛成 こんな議会でいいのでしょうか

自治体の役割は、「くらし・福祉をまもること」。ところが市は財政難を理由に、くらしを切りすて。議会では、ほとんどの予算に新後議員以外が「みんな賛成」です。これで「市政のチェック」という議員の仕事が果たせるでしょうか。

■国保税、介護保険料…、次々値上げに

- ・介護保険料を、年間1万2600円の値上げ(基準額、平成24年)
- ・国保税の所得割りを9.72%→12.3%に値上げ(平成22年)。1人平均1万100円、4人世帯(所得350万円のモデルケース)では年間7万2400円の値上げに。

新後議員は「(滞納が加入世帯の3、4割に達するなど)国保の市民負担はもはや限界を超えてる。減免制度などが緊急に必要」と反対しました。

*さらに、国保滞納者に資格証明書を発行(平成23年3月)

* 資格証明書は、病院窓口で医療費をいったん全額で支払わないといけないため、「医療を受けられず死んでしまう」という事件が全国で起きています。

新後議員は「(これでは)社会保障としての国民健康保険制度を、根底からくつがえすことになりかねない」と反対しました。

一方で 南加賀道路に19億円、 橋立丘陵地の整備には 12億円も投入

加賀市は水道料も国保税もとても高い。無駄な出費をおさえて住みやすいまちにしてほしい。(市民アンケートより)

■市民の切実な要望には背を向けて

議案名	共産	アイリス (自民、公明、社民)	民主 加賀	市政 加賀	自民 クラブ	無所 属
加賀市が、県の税滞納整理機構に参加しないことを求める請願(平成24年)	○	●	●	●	●	●
保険税値上げ中止、安心できる国保制度の確立を求める請願(平成23年)	○	●	▲	●	●	●

議案に対する各会派の態度 (○:賛成、●:反対、▲:一部賛成)

国政では

自民・公明の安倍政権で
“暴走”が始まっています

●国民に、次々と負担増をおしつけ

- ・消費税を8%、10%と引き上げ
- ・年金を10月からさらに2.5%削減
- ・70~74歳の医療費負担を、来年度にも1割→2割に引き上げ

●憲法を変え、「戦争のできる国」づくりめざす

●汚染水がもれ続いているのに、原発再稼動を推進

安倍政権の 暴走にストップ!



くらし切りすてにキッパリ反対 市民と力合わせ 暮らしを守ります

日本共産党 新後 ゆき子



新後ゆき子議員は、くらし切りすてにキッパリ反対するとともに、「市民の声をとどける」「しっかり調査し、道理ある提案をする」「市民と力をあわせる」—この立場で願いを実現してきました。

「市民の足守れ」と運動 バス路線が改善

市民と集めた署名は1500筆以上になり、市長に提出。

議会では「バス路線の改善をもとめる請願」が可決されました。(2009年6月)

翌年11月から片山津路線の拡充、吉崎線や山中・大聖寺線の増便などが実現しました。



市長に申し入れ(2009年11月)

公立保育園の 統・廃合計画が撤回に

2007年に市が提案した統廃合・民営化計画。

「地域から保育園をなくさないで」という住民のみなさんと一緒にがんばり、議会で何度もとりあげ奮闘。計画は中止となりました。

くらしの声を届けて

- ・「高すぎる県水の引き下げを」と求め、水道料金引き下げを実現。
- ・子どもの医療費助成を一步一歩ひろげ、現在、中学卒業まで助成。
- ・加賀市民病院での産科を再開。妊婦健診は14回まで無料に。

新病院建設で地元の仕事増やす

新後議員は「(市の計画では)スーパーゼネコンの受注になる。地元が3割受注した藤沢市の例も参考に検討を」と質問。業者の要望も受け10%以上を地元業者が受注することになりました。

- 市の一般入札にも、地元貢献度を入れよう提案しています。



「人々の命と
暮らしを守る」
が原点です

戦前、命がけで侵略戦争に反対した日本共産党のたたかいの歴史に共感し、新後議員は20才の時に日本共産党の一員に。

生活相談、救援ボランティア…。「人々の命と暮らしを守る」の原点で頑張っています。



東日本大震災の救援ボランティアで被災者の声を聞く

抜本的対案しめし、市民・国民との共同を広げます

TPP参加反対の意見書を市議会で可決

協定(TPP)交渉への参加判断に関する意見書

アジア太平洋経済協力会議(APEC)首脳会議において、環太平洋交渉に向け、関係国と協議に入る事を表明した。については、「国益上守るべき具体的な内容や水準が曖昧なこと」重大な問題にもかかわらず、情報不足により国民的議論がなされ

新後議員が提案、全会一致で可決されました(H24年3月)

原発ゼロ、再稼動ストップ



2012年11月、原発ゼロの県民集会

「憲法とくらし守れ」の願いは、日本共産党・新後ゆき子へ